

配筋検査ARシステム バイアス

Bar Arrangement Inspection AR System BAIAS



鉄筋の位置や形状を三次元的に認識、撮影画像とともに記録することで作業員単独で配筋検査を効率的に実施することが可能。

検査から帳票作成までを一貫したワークフローで実現できます。

- 専用デバイス不要。軽量のiPad Proのみで鉄筋のピッチや径を3D計測可能
- 計測結果を表示した画像データは工事毎に撮影箇所、配筋部位、配筋種類など、予め用意した設計図ファイルと関連付けて保存可能
- iPad Pro に保存したデータはクラウドと同期することでデータの破損や滅失リスクを抑えるとともに、帳票PDFとして外部出力することが可能



鉄筋径の計測機能

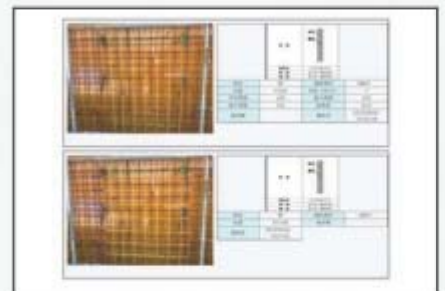
現場での配筋検査に特化



点群から鉄筋の三次元データを測定
iPad Pro に搭載されたLiDAR センサーによって、予め設定した計測範囲の内側で取得した点群から鉄筋の配置を検出し、鉄筋の間隔を算出。



撮影画像にライン・配筋間隔をオーバーレイ
取得した鉄筋の配置(検知ライン)および鉄筋径と、背面カメラで撮影した画像を重ねて合成した画像データを関連情報とともに保存。



クラウドとの同期で帳票をPDF出力
iPad Pro 内のデータをクラウドと同期することで、設計図と実際の配筋状況を比較できる帳票をPDFファイルとして出力可能。

iPad Proは、Apple Inc. の商標または登録商標です。